

文部科学省 私立大学研究ブランディング事業

PLANE³T PROJECT

PLANKton
Eco-engineering for
Environmental and
Economic
Transformation

途上国の貧困は、国際的な中心課題となっています。
本事業では、理系・文系の研究を融合することで、特色ある
新たな研究分野として「プランクトン工学」を提案し、国連
SDGsである途上国における環境保全と飢餓解消に貢献する
持続可能な循環型社会システムの構築を目的としています。

2018年

5月12日 土

時間：午後1時30分より
(受付 午後1時～)

申込
不要

場所：創価大学 S棟201教室
どなたでもご参加いただけます

キックオフシンポジウム

途上国における循環型社会の形成 ～エチオピアをモデルケースとして～

プログラム内容

第一部 (13:30～14:30)

あいさつ

馬場善久 (創価大学 学長、ブランディング事業責任者)

創価大学「PLANE³T Project」について

戸田龍樹 (創価大学大学院 工学研究科長、研究プロジェクト責任者)

エチオピア・バハルダール市周辺の

環境・生態・社会的諸問題と

バハルダール大学の取り組み

フィレウ・テゲニエ (エチオピア・バハルダール大学 学長)

第二部 (14:50～16:00)

JICAのアフリカ協力について

木野本浩之 (JICA東京 東京国際センター 所長)

BOPビジネスの社会的・教育的意義

高木功 (創価大学大学院 経済学研究科長)

現代版里湖循環型社会の構築

～水草からクロレラを作る～

伴修平 (滋賀県立大学 教授、外部評価委員長)

総評

神立孝一 (創価大学 副学長、ブランディング事業責任者)



PLANE³T

[https://www.soka.ac.jp/
research/branding/](https://www.soka.ac.jp/research/branding/)

お問い合わせ先：創価大学研究ブランディング事業 su-bp@soka.ac.jp